

# 経済 TOPICS

No. 245

(2025年7月17日)

## 景気ウォッチング（要旨）

日本 … 生産や個人消費が横這い圏内の動きのなか、輸出が米国の通商政策の影響によりやや弱めの動きとなっているものの、設備投資が堅調に推移していることから、全体としてはごく緩やかに回復している。消費者物価(除く生鮮食品)は、食料価格の上昇により、前年比プラス幅が拡大している。この間、米国の通商政策の影響や中国経済の長期低迷など、世界経済の先行き不透明感が強い状態が続いている。

米国 … 生産が横這い圏内の動きを続けるなか、個人消費がやや弱めの動きとなっているものの、設備投資が堅調に推移していることから、全体としては緩やかに成長している。この間、雇用はタイトな状態が続いている。消費者物価は、前年比プラス幅がやや拡大した。

### (参考) 日米の物価動向

〈日本〉 エネルギーやサービス価格の前年比プラス幅が横這い圏内のなか、食料価格(除く生鮮食品)の上昇傾向が続いていることから、前年比プラス幅が拡大している。この間、食料価格の上昇により、エンゲル係数(家計の消費支出に占める食費の割合)の上昇傾向が続いている。

〈米国〉 サービス価格の上昇圧力が続くなか、エネルギーなどの前年比マイナス要因がなくなったことから、前年比プラス幅がやや拡大した。



京都フィナンシャルグループ

京都総研コンサルティング